

橋の社会福祉「第41号」

発行所 橋地区社会福祉協議会(事務局)
川崎市高津区溝口1-6-10
てくのかわさき 3F
福祉パルたかつ内
TEL 812-5500
発行人 森 昭司
編集人 機関紙編集委員会
委員長 佐藤 嘉彦



(社会福祉協議会の会章)

地域でささえる橋の福祉活動

橋地区社会福祉協議会 会長 森 昭司



橋地区社会福祉協議会では、「明るい豊かな住み良いまちづくり」をめざして、地域の皆さまに喜ばれるような地域福祉活動を進めてきました。私たちの諸活動につきまして、日頃からあたたかいご支援をいただき、地域の皆さまには心から御礼を申し上げます。

さて、改めて令和2年度を思い起こしてみますと、突然のコロナウイルスの発生により、全国の小中高校の一斉休校から始まり、東京オリンピック・パラリンピックの延期、緊急事態宣言の発令、梅雨時期の豪雨に夏の猛暑と驚きの一年だったと思います。私たちの活動も感染防止対策に神経を使いながら、できる範囲で行ってまいりましたが、それ以上に感染拡大の影響は大きく、思うように活動を進められなかったことも事実です。地域のひとり暮らしの高齢者のふれあいの場として行ってきた「ふれあい会食会」は、会場の定員の都合などもあり、中止せざるを得ない地区もありました。「親子のつどい」「橋ふるさと祭り」「橋の散歩道ウォークラリー」など、これまで取り組んで参りました活動がごとごとく中止となり残念でなりません。早くワクチンの効果が広がり、コロナウイルス感染に心配することなく、安心して地域活動ボランティア活動に取り組める日が来ることを願っています。

いあいさつ

橋地区連合自治会 会長 森 幸男



皆様こんにちは。橋地区連合自治会会長の森幸男でございます。柏木靖男会長のあとを引き継ぎ、三年目がスタートしました。初年度は、無我夢中でおりました。昨年度は、未曾有の大災害と云っても過言ではない新型コロナウイルスにより、地域の多くの事業が中止、延期となりました。会員皆様のご協力とご理解に深く感謝、お礼申し上げます。

橋地区は現在、五十四町会、自治会の会員相互の福祉増進と親睦を目的に運営しております。三大事業といたしまして、夏のふるさと祭り、秋の親子運動会、冬の防災訓練があります。ふるさと祭りは、四十回を数え毎年七千人の人が来場され、賑わいを見せて、夏の風物詩となっております。

橋出張所時代の思い出

高津区長 鈴木 哲朗



初夏。橋出張所の南側の丘の森からコジケイの元気な鳴き声が聞こえてきます。お隣の山崎さんと朝のご挨拶。所長席から見える橋小学校の「なかよし門」からは昇降口が開くのを待つ子どもたちの元気な声。「さー！今日も一日頑張ろう」、そんな気持ちにさせてくれる日常。

三年間お世話になった高津区役所橋出張所。築四十年の庁舎。丈夫な建物ですが各種設備は老朽化して、ご利用の皆様にも迷惑をおかけしたかと思えます。古い分、気兼ねなくお使いいただけるとの声もいただきました。この少し古い建物に籍を置きながら、自分の席を温める暇もなく元気に働かせてもらいました。

保健師から見たコロナ対策

高津区役所地域みまもり支援センター 衛生課 課長 海野 一彦

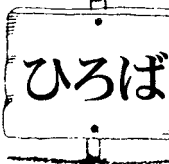
貴協議会の皆様には日頃より高津区の保健福祉行政にご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年1月に中国湖北省にて未知の肺炎症状の患者が多数発見され、SARSの再来か？と保健所内が慌しくなるや、あつという間に新型コロナウイルス感染症が日本国内でもまん延し始め、史上初の「緊急事態宣言」発令となりました。街なかからは、こども達のにぎやかな声や人々が挨拶を交わす姿が消え、寂しい風景となりました。皆様の感染症防御の御努力により、夏前にいったん落ち着いたかに見えた状況は、再び患者数の増加に転じ、この記事を書いている2月現在、感染拡大の第三波の真っただ中にあります。この間、私達保健師の活動は、感染拡大を防ぐための疫学調査にマンパワーを割かれ、健康診断等、日程や内容の変更を余儀なくされておりましたが、皆様には、乳幼児健診、予防接種、がん検診等の受診を引き続き進めていただきたいと思います。

世界の一部では、コロナワクチンの接

コロナ禍に思う

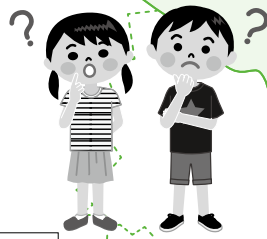
高津区橋出張所 所長 高相 志



昨年4月に所長として着任し、1年がたちました。この間現在世界的に蔓延している「新型コロナウイルス」の影響で、「橋ふるさと祭り」「橋の散歩道ウォークラリー」をはじめ、毎年橋地区社会福祉協議会の皆様にご協力いただいたりしながら中止となってしまいました。本来であれば、いろいろな場面で会議や行事に参加させていただき、地域の歴史や活動のお話を伺いたいところでしたが、着任以来ほとんどできなかったことが本当に残念です。

一方、このような状況の中でも、第1回目の緊急事態宣言解除後は、定期的に出張所にお集まりになり「地域で助けを求めている人たちに何かできることはないか」をご検討されている貴協議会の皆様の姿勢には敬意を表します。市では、「住み慣れた地域で最後まで自分らしく生活すること」を目的に、地域包括ケアシステムの取り組みを推進しておりますが、この取り組みを進められるには、地域で活動されておられる皆様の力が不可欠です。コロナ禍で様々な制約がある中で活動は、いろいろな苦勞があると思えますが、人と人との触れ合いがなければ地域の取組を支えることはできません。その最先端を担っていただいているのが社協をはじめとした地域のみならず、様々な活動だと思えます。橋地区にお住いの方の仲の良さや絆の強さについては、他の地域にはみられない伝統であり、誇りであることを歴史代の所長からも伺っています。今後新型コロナウイルスの動向によっては、これまでの日常生活を取り戻すには困難な状況が続きますが、自分な活動をするには、皆様自身が健康であつてこそ存じます。今後の貴協議会の益々のご発展と皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げます。

Infographic with icons for social distancing (離れて), hand disinfection (手指の消毒), ventilation (換気), mask wearing (マスク着用), and hand washing (手洗い).



「橋地区社会福祉協議会」 ってどんな組織？



橋地区マップ



地域の福祉課題の解決に向け、地域住民全員が福祉の担い手となり、住民同士がお互いに支え合うことを目的とした任意団体です。川崎市内には40の「地区社会福祉協議会」があり、「橋地区社会福祉協議会」もそのうちのひとつで、昭和33年7月に設立されました。さまざまな活動を通して福祉のまちづくりを進めています。会員構成は、町内会・自治会、民生委員児童委員、保護司、子ども会、老人クラブ等が中心となっています。

橋地区社会福祉協議会は4つの部会に分かれて活動しています

企画調査部会

会員への研修会の実施、機関紙の発行等、福祉の啓発活動を行っています。



厚生福祉部会

車いすの貸出事業、介護講習会の実施、橋ふるさとまつりにおける「ふれあいコーナー」の実施等、高齢者及び障害者福祉活動を行っています。



女性部会

高齢者ふれあい会食会活動や「親子のつどい」の開催等、地域のふれあい活動を行っています。



青少年部会

橋の散歩道ウォークラリーや中学生と福祉を語る会の開催、夜間パトロール等、青少年の健全育成活動を行っています。



コロナウイルス感染拡大前の写真が含まれています。

橋地区基礎データ

(令和2年12月末日現在)

人口	95,576人
年少(0歳~14歳)	12,659人
生産年齢(15歳~64歳)	62,922人
高齢者(65歳~74歳)	9,899人
高齢者(75歳~)	10,096人
世帯数	45,101世帯
外国人	1,917人
対象地域	末長、新作、千年、千年新町、子母口、子母口富士見台、明津、蟹ヶ谷、久末、北野川、東野川
主な拠点・活動場所	高津区役所橋出張所、子母口・末長老人いこいの家、プラザ橋、高津老人福祉・地域交流センター

優良地区社協の表彰

令和2年11月13日「橋地区社会福祉協議会」が、優良活動社協として令和2年度全国社会福祉協議会会長表彰を受賞しました。昭和41(1966)年以来2回目の受賞となります。



車いすの無料貸出事業

※橋地区社会福祉協議会では、ケガや介護などで、一時的に車いすが必要な方に無料でお貸ししています。



- | | |
|----------------|----------------|
| (末長) | (子母口) |
| 澁谷 博 866-9711 | 吉野 豊 766-8006 |
| 猪平 信雄 877-7773 | 中島 和夫 788-8141 |
| 小黒 欣三 833-9222 | (久末) |
| (新作) | 森 恒夫 788-7898 |
| 福田 秀子 865-0261 | 森 昭司 766-3693 |
| 平田 恭子 888-9472 | 堀内 武雄 777-8128 |
| 石川 秀子 857-7147 | (蟹ヶ谷) |
| (千年) | 田村 恒子 777-4062 |
| 小宮 茂 754-1415 | (明津) |
| 山崎光佐夫 755-6614 | 秋元 薫 766-2789 |
| 小泉 健一 777-3531 | |
| (千年新町) | |
| 白濱 昭 766-5896 | |
- 担当地区の民生委員または、上記の担当者へご連絡ください。

令和2年度 高津区社会福祉協議会 賛助会員及び賛助会費について

橋地区内
957件の会員の皆さまより

1,441,000円

(前年度比 79,000円減となりました。)

皆さまにご協力いただきました賛助会費は、ひとり暮らしの高齢者を対象とした会食会や青少年福祉事業などの社会福祉事業に使われています。また、本機関紙を含めた、地域福祉推進のための広報活動にも使われています。皆さまからの暖かいご支援ありがとうございました。

寄託金の御礼 令和2年度寄託金

セレサ川崎農業協同組合様

60,000円

あたたかいご協力に感謝いたします。